

Excel 活用



目 次

1. ミスを少なく、効率よく入力する.....	1
入力ミスは、どこで発生するか	1
VLOOKUP 関数	2
VLOOKUP 関数を設定する	2
VLOOKUP 関数をコピーする	6
効率よく入力する（入力規則の設定）	8
 2. 単純集計表を「情報」として活用する.....	11
一覧表・テーブルのデータを活用する.....	11
ピボットテーブルの作成	11
ピボットグラフの作成	16



本書では、次の環境を基準に説明しています。

- ・ OS : Windows 8.1 Update
- ・ アプリケーション : Office 2013 Professional Plus

画面など、予告なく変更される場合があります。

また、本書の著作権は日本マイクロソフト株式会社が保有しています。本書に掲載されたもの、およびデータは、著作権法上、個人で使用する以外、無断で複製、複写、転載、再配布することを禁じられています。

Microsoft、Windows、Office、Word、Excel、Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。本書中に登場するアプリケーション名などは一般に各メーカーの登録商標です。本書には©、®、TM マークは明記しておりません。

1. ミスを少なく、効率よく入力する

▶ 入力ミスは、どこで発生するか

Excel で入力作業をするときに、元になる資料を見ながら入力することがあります。例えば「商品コード（商品 CD）」「商品名」「単価」が書かれた「商品台帳」を見ながら、その日の売上を入力するような場合、どうしても転記ミスが発生しやすくなります。

	A	B	C
1	商品CD	商品名	単価
2	1021	ベンジャミナ(中)	¥4,000
3	1030	カボック(大)	¥4,300
4	1031	カボック(中)	¥3,900
5	1040	フェニックス(特大)	¥4,800
6	1041	フェニックス(大)	¥4,600
7	1042	フェニックス(中)	¥4,300
8	2010	ボトス(中)	¥1,500
9	2011	ボトス(小)	¥1,000
10	2020	パキラ(大)	¥2,000
11	2021	パキラ(中)	¥1,800
12	2022	パキラ(小)	¥1,300
13	2030	アスパラガス(中)	¥2,000
14	2031	アスパラガス(小)	¥1,600
15			

商品台帳を見ながら

	A	B	C	D	E	F
1	年月日	商品CD	商品名	単価	個数	売上
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

都度で入力するとミスが増える

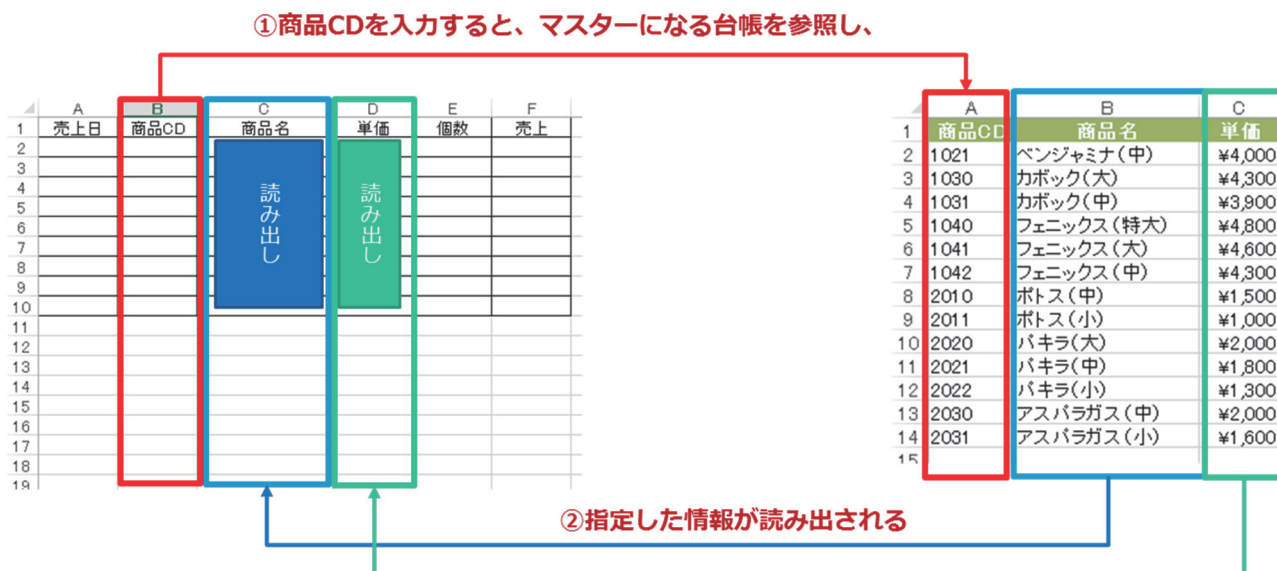


このようなミスを減らすためにはどのような工夫をすると良いか考えてみましょう。

▶ VLOOKUP 関数

「商品 CD」を入力すると、自動的に「商品名」「単価」が表示されるように設定できれば、転記ミスを減らすことができます。このような設定を実現するために使用するのが「VLOOKUP 関数（ヴァイルックアップ関数）」です。

下図の場合、売上集計シート（左側）の B 列に商品 CD を入力することで、参照表である商品台帳（下図の右側）から C・D 列に情報が読み出されるようにできるため、ミスが減るだけでなく、入力時間の短縮にもなります。



売上集計（入力作業するシート）

商品台帳（マスター情報）

▶ VLOOKUP 関数を設定する

VLOOKUP 関数は、情報を読み出して反映させたいセル（上図では、C・D 列のセル）に、以下のように記述します。

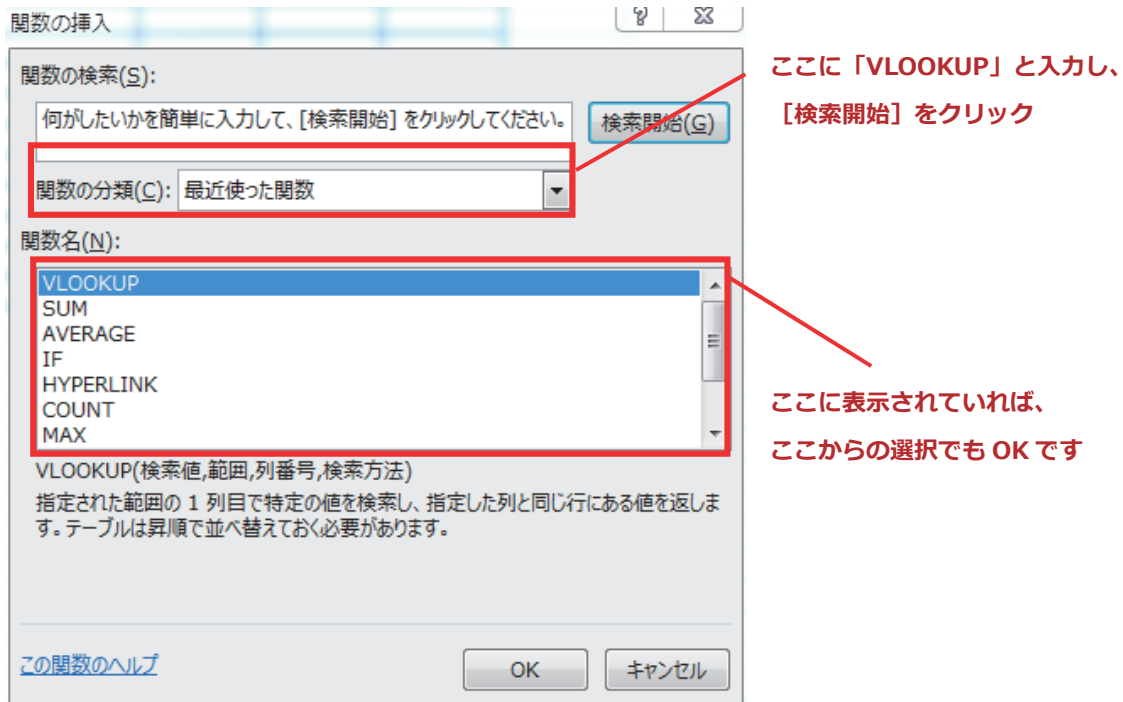
=VLOOKUP（検索値,範囲,列位置,検索の型）

検索値	検索する情報が入力されているセル
範囲	参照表の範囲
列番号	参照表から情報を呼び出す列番号（左から何列目の情報を読み出すか）
検索方法	「FALSE（または 0）」か「TRUE（または 1）」を入力するが省略することも可能。省略した場合は「TRUE」の扱いになる。入力ミスを無くす目的であれば、検索値と完全一致のときにだけ情報を読み出す「FALSE」を設定する

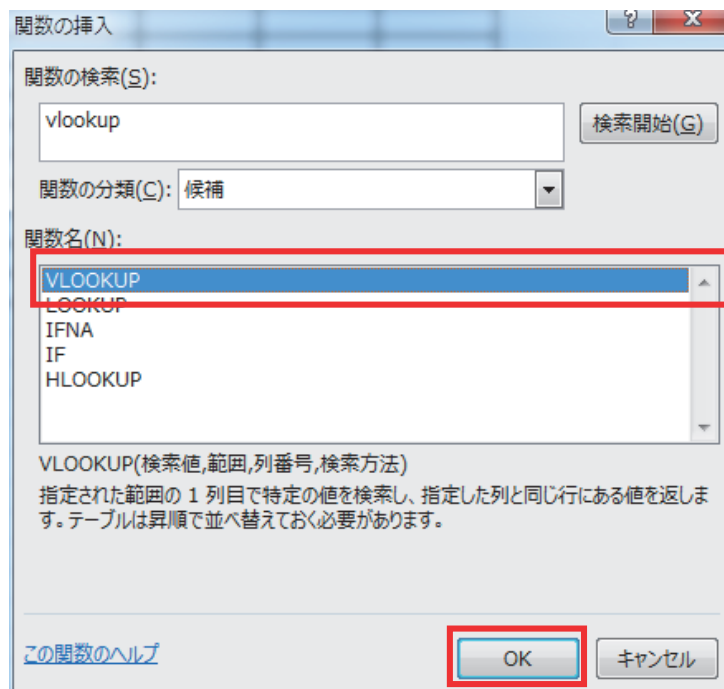
C 列に「商品名」が読み出されるようにするには、次ページのようにします。

① 「関数の挿入ダイアログボックス」を表示させ、「VLOOKUP」と検索する

関数を設定したいセルを選択（ここでは C2 セル）し、数式バーの左横にある「fx」ボタンを押す。



② 「VLOOKUP」を選択して「OK」する



③ダイアログボックスに必要情報を入力する

関数の引数

VLOOKUP

検索値 = すべて

範囲 = 数値

列番号 = 数値

検索方法 = 論理

=

指定された範囲の 1 列目で特定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく必要があります。

検索値 には範囲の先頭列で検索する値を指定します。検索値には、値、セル参照、または文字列を指定します。

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

※ここでは、以下のように入力します。範囲指定ボタン  を使っても、手入力しても構いません。

検索値 : B2

範囲 : 商品一覧!A2:C14

列番号 : 2

検索方法 : FALSE

関数の引数

VLOOKUP

検索値 B2 = 0

範囲 商品一覧!A2:C14 = {1021,"ベンジャミナ (中)",4000;1...

列番号 2 = 2

検索方法 FALSE = FALSE

=

指定された範囲の 1 列目で特定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく必要があります。

範囲 には目的のデータが含まれる文字列、数値、または論理値のテーブルを指定します。セル範囲の参照、またはセル範囲名を指定します。

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

入力できたら「OK」をします。

④B2セルに、商品CDの「1021」を入力します。

	A	B	C	D	E	F
1	売上日	商品CD	商品名	単価	個数	売上
2		1021	#N/A			
3						
4						

⑤B2セルへの入力をして確定すると、C2セルに商品名が表示されます

	A	B	C	D	E	F
1	売上日	商品CD	商品名	単価	個数	売上
2		1021	ベンジャミナ(中)			
3						
4						



同じように、D2セルに「単価」が読み出されるように VLOOKUP 関数を設定しましょう。

ただし、このワークでは、C2セル（商品名）の数式をコピーしてはいけません。



関数名と引数（ひきすう）

C2セルに VLOOKUP 関数を設定したあと数式バーを確認すると以下のように入力されています。

「=VLOOKUP」までを「関数名」、「(B2,商品一覧!A2:C14,2,FALSE)」を、その関数の「引数」といいます。引数は関数によって設定すべき内容が異なり、引数の設定が間違っているとエラーとなります。





例えば A1 セルから A10 セルまでの合計を SUM 関数で計算した場合には、「=SUM(A1:A10)」と表示されます。この場合、関数名は「SUM」、引数は「(A1:A10)」となります。

▶ VLOOKUP 関数をコピーする

C2・D2 に設定した VLOOKUP 関数を、それぞれ C・D 列すべてに設定しようとしたとき、単純にオートフィルをかけてもエラーとなってしまいます。

	A	B	C	D	E	F
1	売上日	商品CD	商品名	単価	個数	売上
2		1021	ベンジャミナ(中)	4000		
3		1021	#N/A	#N/A		
4			#N/A	#N/A		
5			#N/A	#N/A		
6			#N/A	#N/A		
7			#N/A	#N/A		
8			#N/A	#N/A		
9			#N/A	#N/A		
10			#N/A	#N/A		




これは、例えば C3 セルの数式バーの内容が以下になっているためです。

C3	:				=VLOOKUP(B3,商品一覧!A3:C15,2,FALSE)		
	A	B	C	D	E	F	I
1	売上日	商品CD	商品名	単価	個数	売上	
2		1021	ベンジャミナ(中)	4000			
3		 1	#N/A	#N/A			



なぜエラーになってしまうのか、引数の内容に注目して、原因を考えてみましょう。

VLOOKUP 関数を他のセルにもコピーする場合は、参照表（台帳やマスター）の範囲に対して、絶対参照を設定しておく必要があります。絶対参照を設定することで、オートフィルで関数をコピーしても参照先の範囲が固定されます。

C2	:				=VLOOKUP(B2,商品一覧!\$A\$2:\$C\$14,2,FALSE)		
	A	B	C	D	E	F	G
1	売上日	商品CD	商品名	単価	個数	売上	
2		1021	ベンジャミナ(中)	4000			

D2	:				=VLOOKUP(B2,商品一覧!\$A\$2:\$C\$14,3,FALSE)		
	A	B	C	D	E	F	G
1	売上日	商品CD	商品名	単価	個数	売上	
2		1021	ベンジャミナ(中)	4000			



C2・D2 セルに設定した VLOOKUP 関数の「範囲」に絶対参照を設定して下さい。

その後、売上集計シートの 11 行目までオートフィルでコピーをして、どの商品 CD を入力してもエラーが出ないことを確認して下さい。

完成例

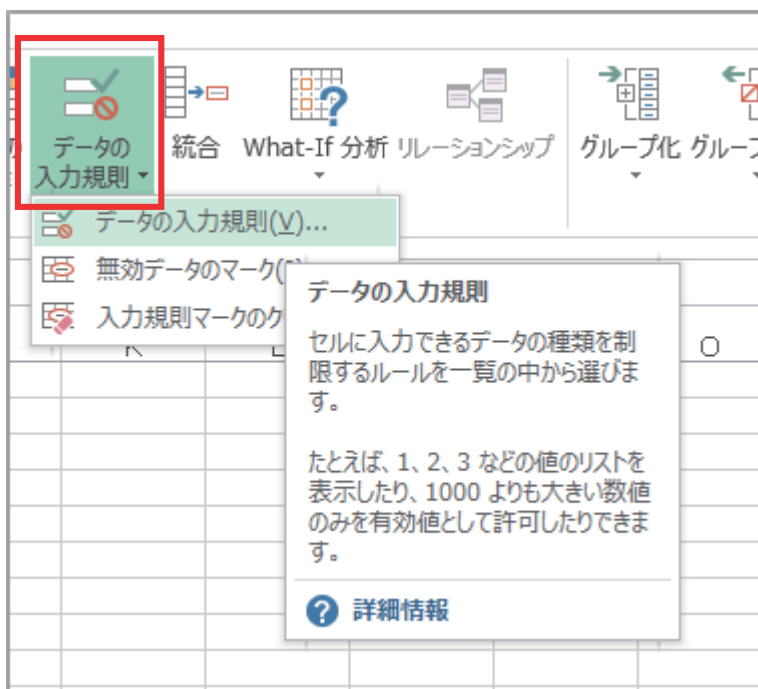
	A	B	C	D	E	F
1	売上日	商品CD	商品名	単価	個数	売上
2		1021	ベンジャミナ(中)	4000		
3		1021	ベンジャミナ(中)	4000		
4		1040	フェニックス(特大)	4800		
5		2030	アスパラガス(中)	2000		
6		2021	パキラ(中)	1800		
7		2022	パキラ(小)	1300		
8		1042	フェニックス(中)	4300		
9		1021	ベンジャミナ(中)	4000		
10		2031	アスパラガス(小)	1600		
11		2021	パキラ(中)	1800		

▶ 効率よく入力する（入力規則の設定）

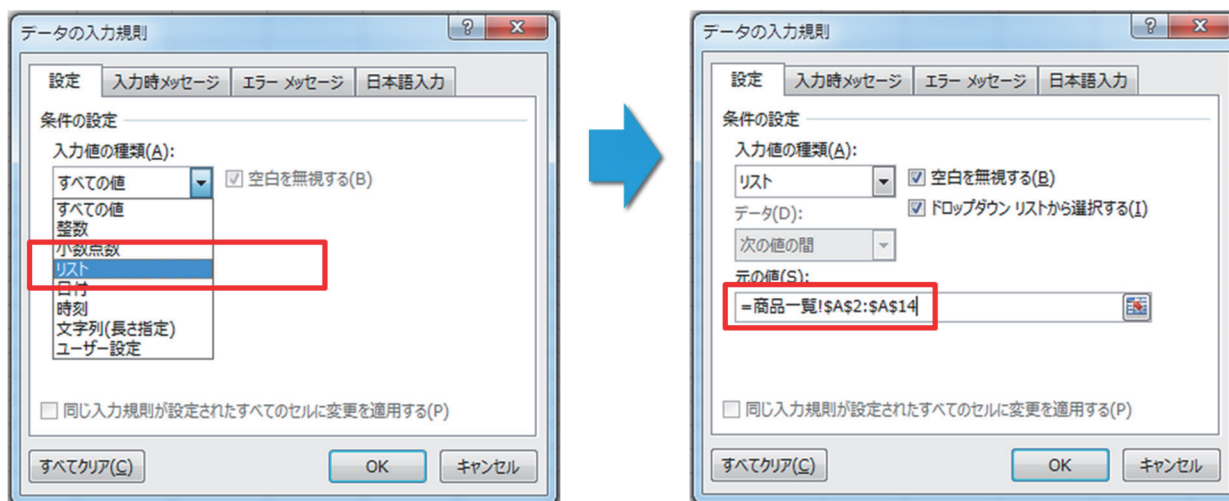
これで入力ミスが軽減されましたが、いちいち商品 CD を入力するのが面倒です。

商品 CD をリストから選択できる入力規則を設定してみましょう。

①入力規則を設定したいセル範囲を選択し、[データ] タブから [データの入力規則] を選択



②ダイアログボックスで「リスト」を選択し、リスト表示させる元情報の範囲を選択



これで入力規則が設定されました。意図した通りになっているかを確認しましょう。

リスト入力を設定したセルを選択すると、セル右側に、▼ ボタンが表示されます。

	A	B	C	D	E	F
1	売上日	商品CD	商品名	単価	個数	売上
2		1021	▼ ベンジャミナ (中)	4000		
3		1004	ベンジャミナ (中)	4000		

▼ ボタンを押すと、商品 CD をリストから選択できるようになります。

B	C
商品CD	商品名
1021	▼ ベンジャミナ (中)
1021	▲ ベンジャミナ (中)
1030	フェニックス (特大)
1031	フェニックス (特大)
1040	アスパラガス (中)
1041	パキラ (中)
1042	パキラ (小)
2010	フェニックス (中)
2011	ベンジャミナ (中)
2021	アスパラガス (小)
2031	アスパラガス (小)

リストから商品 CD を切り替えて、連動して商品名・単価が切り替わることを確認できれば設定完了です。



- ①売上集計シートの商品 CD にリスト形式の入力規則を設定してください。
- ②個数を入力すれば「売上」が計算されるように数式を設定して下さい
- ③売上日の表示を「長い日付形式」に変更し、任意の日付を入力して下さい
- ④表全体を見栄え良く編集して下さい

作成例

	A	B	C	D	E	F
1	売上日	商品CD	商品名	単価	個数	売上
2	2014年4月1日	1021	ベンジャミナ (中)	4000	1	¥ 4,000
3	2014年4月2日	1021	ベンジャミナ (中)	4000	2	¥ 8,000
4	2014年4月3日	1040	フェニックス (特大)	4800	3	¥ 14,400
5	2014年4月3日	2030	アスパラガス (中)	2000	4	¥ 8,000
6	2014年4月4日	2021	パキラ (中)	1800	5	¥ 9,000
7	2014年4月5日	2022	パキラ (小)	1300	6	¥ 7,800
8	2014年4月6日	1042	フェニックス (中)	4300	7	¥ 30,100
9	2014年4月7日	1021	ベンジャミナ (中)	4000	8	¥ 32,000
10	2014年4月8日	2031	アスパラガス (小)	1600	9	¥ 14,400
11	2014年4月9日	2021	パキラ (中)	1800	10	¥ 18,000

Excel の関数は何百種類もあり、全てを覚えることは現実的ではありません。わざわざ覚えなくても、SUM 関数のようにリボン操作で自然と関数を使っている場合もあります。

「どんな操作をしたいか」を考え、「データの数を数える」「条件で抽出する」のように検索するなどして調べ、実際に使っていくことで、特によく使う関数は自然と身についていきます。大切なのは、「いかに正確な結果を得るか」「いかに効率の良い操作をするか」を常に意識して、「こういうことはできないだろうか」と考え、調べ、試してみることです。パソコンの操作は取り消すことができますので、データのバックアップをとるなどしたうえで、さまざまな操作を試してみてください。

- 参考サイト例：マイクロソフトの Office に関する公式サイトの「サポート」(<http://office.microsoft.com/ja-jp/support/?CTT=97>)



<http://office.microsoft.com/ja-jp/support/?CTT=97>

調べたい製品を選択し、キーワードや質問文を入力します

2. 単純集計表を「情報」として活用する

▶ 一覧表・テーブルのデータを活用する

単なる一覧表を「テーブル」に変換することで、並べ替えや抽出、集計がスムーズとなりますが、あくまでも「使いやすい一覧表」です。これから学ぶ「ピボットテーブル」を使えるようになると、一覧表・テーブルを元データとして、さまざまな角度からデータを集計したり、整理したりできるようになります。

A	B	C	D	E	F	G
1						
2						
3						
4	1	01月04日	ワインセット	5,250	130	682,500
5	2	01月04日	焼酎組合せ	4,200	200	840,000
6	3	01月04日	ビール組合せ	4,200	130	546,000
7	4	01月06日	和洋酒類	5,250	140	735,000
8	5	01月06日	洋酒セット	3,150	40	126,000
9	6	01月06日	カクテル6種	3,150	230	724,500
10	7	01月06日	ビール組合せ	4,200	50	210,000
11	8	01月06日	カクテル6種	3,150	220	693,000
12	9	01月07日	ビール組合せ	4,200	180	756,000
13	10	01月08日	洋酒セット	3,150	150	472,500
14	11	01月08日	カクテル6種	3,150	200	630,000
15	12	01月08日	和洋酒類	5,250	10	52,500
16	13	01月08日	ビール組合せ	4,200	10	42,000
17	14	01月09日	洋酒セット	3,150	200	630,000
18	15	01月10日	ワインセット	5,250	50	262,500
19	16	01月10日	カクテル6種	3,150	50	157,500
20	17	01月11日	ビール組合せ	4,200	300	1,260,000
21	18	01月11日	和洋酒類	5,250	300	1,575,000
22	19	01月12日	洋酒セット	3,150	150	472,500
23	20	01月14日	ワインセット	5,250	70	367,500
24	21	01月15日	焼酎組合せ	4,200	70	294,000
25	22	01月15日	洋酒セット	3,150	300	945,000
26	23	01月15日	ビール組合せ	4,200	140	588,000
27	24	01月16日	焼酎組合せ	4,200	130	546,000
28	25	01月17日	洋酒セット	3,150	120	378,000
29	26	01月17日	ビール組合せ	4,200	140	588,000
30	27	01月18日	洋酒セット	3,150	150	472,500
31	28	01月18日	ビール組合せ	4,200	150	630,000
32	29	01月18日	焼酎組合せ	4,200	140	588,000
33	30	01月20日	洋酒セット	3,150	180	567,000
34	31	01月20日	カクテル6種	3,150	150	472,500
35	32	01月20日	焼酎組合せ	4,200	160	672,000
36	33	01月21日	ビール組合せ	4,200	160	672,000
37	34	01月21日	ワインセット	5,250	140	735,000
38						
39						

一覧表



A	B	C	D	E	F	G
1						
2						
3						
4	1	01月04日	ワインセット	5,250	130	682,500
5	2	01月04日	焼酎組合せ	4,200	200	840,000
6	3	01月04日	ビール組合せ	4,200	130	546,000
7	4	01月06日	和洋酒類	5,250	140	735,000
8	5	01月06日	洋酒セット	3,150	40	126,000
9	6	01月06日	カクテル6種	3,150	230	724,500
10	7	01月06日	ビール組合せ	4,200	50	210,000
11	8	01月06日	カクテル6種	3,150	220	693,000
12	9	01月07日	ビール組合せ	4,200	180	756,000
13	10	01月08日	洋酒セット	3,150	150	472,500
14	11	01月08日	カクテル6種	3,150	200	630,000
15	12	01月08日	和洋酒類	5,250	10	52,500
16	13	01月08日	ビール組合せ	4,200	10	42,000
17	14	01月09日	洋酒セット	3,150	200	630,000
18	15	01月10日	ワインセット	5,250	50	262,500
19	16	01月10日	カクテル6種	3,150	50	157,500
20	17	01月11日	ビール組合せ	4,200	300	1,260,000
21	18	01月11日	和洋酒類	5,250	300	1,575,000
22	19	01月12日	洋酒セット	3,150	150	472,500
23	20	01月14日	ワインセット	5,250	70	367,500
24	21	01月15日	焼酎組合せ	4,200	70	294,000
25	22	01月15日	洋酒セット	3,150	300	945,000
26	23	01月15日	ビール組合せ	4,200	140	588,000
27	24	01月16日	焼酎組合せ	4,200	130	546,000
28	25	01月17日	洋酒セット	3,150	120	378,000
29	26	01月17日	ビール組合せ	4,200	140	588,000
30	27	01月18日	洋酒セット	3,150	150	472,500
31	28	01月18日	ビール組合せ	4,200	150	630,000
32	29	01月18日	焼酎組合せ	4,200	140	588,000
33	30	01月20日	洋酒セット	3,150	180	567,000
34	31	01月20日	カクテル6種	3,150	150	472,500
35	32	01月20日	焼酎組合せ	4,200	160	672,000
36	33	01月21日	ビール組合せ	4,200	160	672,000
37	34	01月21日	ワインセット	5,250	140	735,000
38						
39						

テーブル



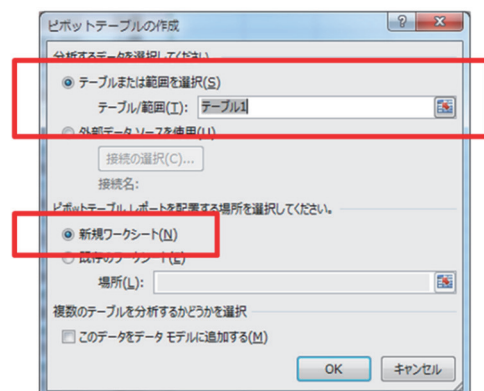
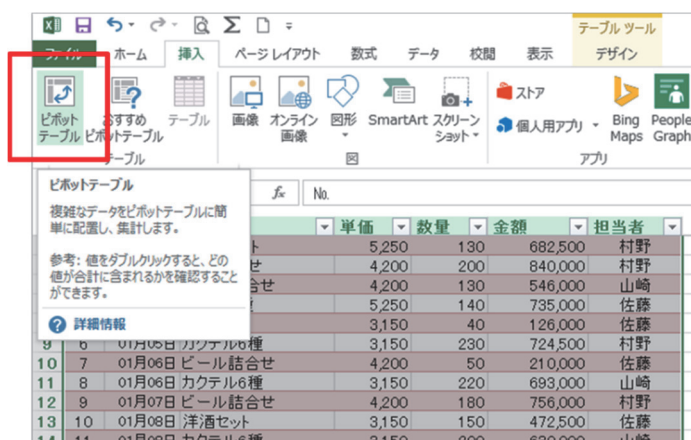
A	B	C	D	E
1				
2				
3				
4	合計 / 金額	列ラベル		
5	行ラベル	カクテル6種	ビール組合せ	ワインセット
6	1月	3433500	5292000	4777500
7	2月	1764000	2814000	3360000
8	3月	2646000	3906000	5785500
9	4月	693000	1680000	1312500
10	5月	1008000	672000	525000
11	6月	945000	126000	525000
12	7月	840000	430500	168000
13	8月	588000	1837500	210000
14	9月	7843500	12012000	13923000
15	10月			9954000
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				

ピボットテーブル

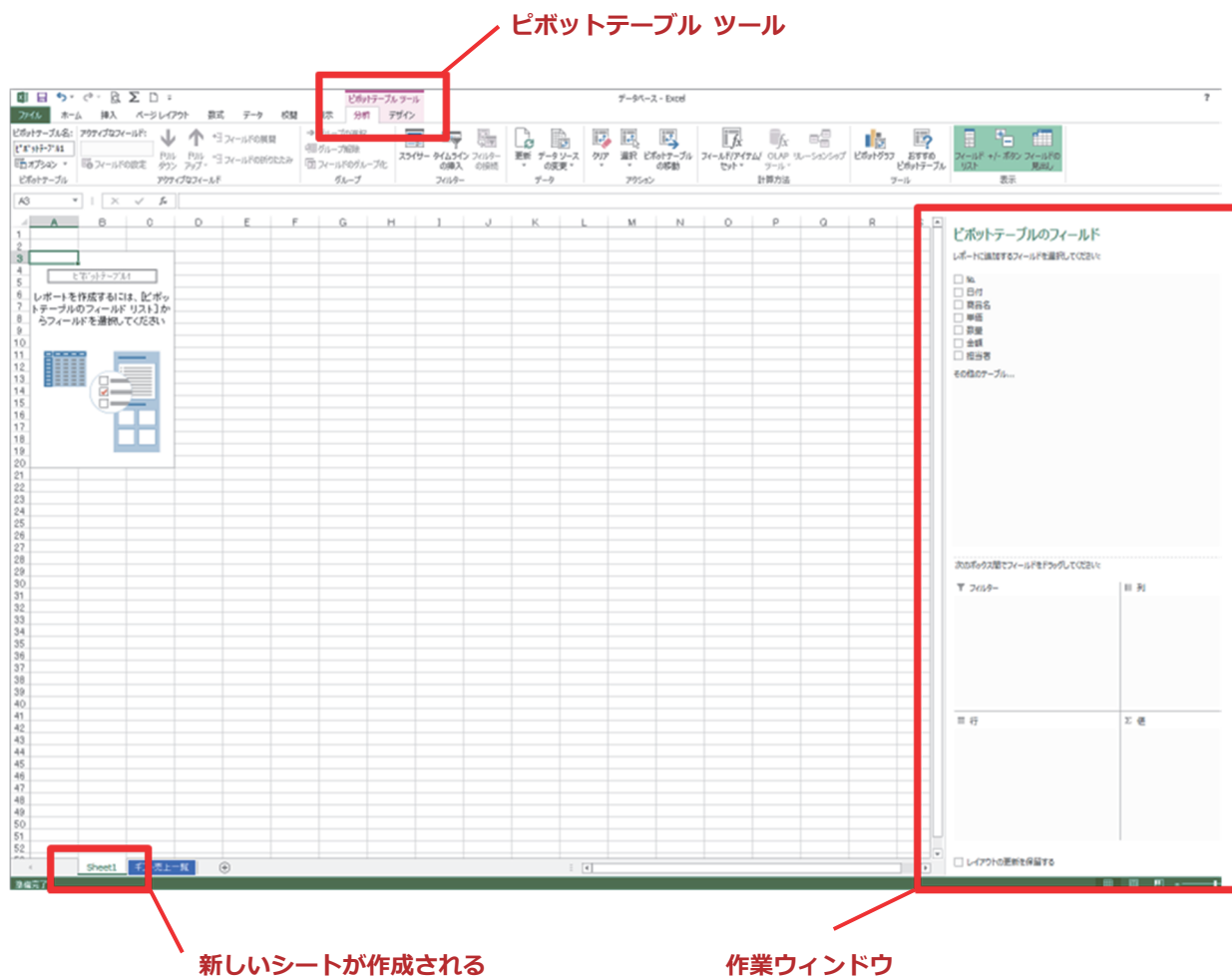
▶ ピボットテーブルの作成

ピボットテーブルとピボットグラフは以下の手順で作成します。

- ①一覧表をテーブルに変換しておく（しなくてもいいが、した方が便利）
- ②ピボットテーブルの元となるテーブルを選択し、リボン「挿入」タブから「ピボットテーブル」を選択する
ダイアログボックスで選択範囲を確認し、新規ワークシートを選択して「OK」する



- ③新しいシートが自動作成され、ピボットテーブル作成用の作業ウィンドウが表示され、
タブに【ピボットテーブル ツール】 も表示される



作業ウィンドウと作成させるピボットテーブルの位置関係をおさえておきましょう。
行ラベル、列ラベルの組み合わせで、さまざまな情報を得られます。

次のボックス内でフィールドをドラッグしてください:

▼ フィルター

日付

列ラベル

行ラベル

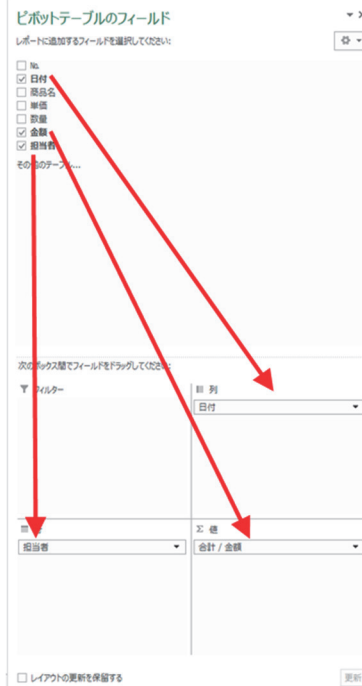
値

☐ レイアウトの更新を保留する

更新

	A	B	C	D	E
1					
2					
3	合計 / 金額	列ラベル			
4	行ラベル	01 月04 日	01 月05 日	01 月06 日	01 月07 日
5	香山		861000	210000	
6	佐藤	546000		693000	
7	山崎				
8	村野	1522500	724500		756000
9	太田				
10	田中				
11	総計	2068500	1585500	903000	756000
12					

③フィールドリストから、行ラベル・列ラベルに項目をドラッグする



項目をドラッグすることによって表ができていく。

	A	B	C	D	E
1					
2					
3	合計 / 金額	列ラベル			
4	行ラベル	01 月04 日	01 月05 日	01 月06 日	01 月07 日
5	香山				
6	佐藤		861000	210000	
7	山崎	546000		693000	
8	村野	1522500	724500		756000
9	太田				
10	田中				
11	総計	2068500	1585500	903000	756000
12					

④ほしい情報を見やすいように編集する

【編集例①】日付ごとでは見づらいので、「月」ごとに「グループ化」をする。

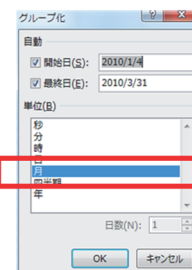
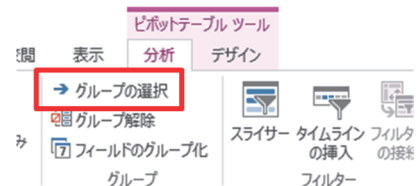
2									
3	合計 / 金額	列ラベル							
4	行ラベル	01 月04 日	01 月05 日	01 月06 日	01 月07 日	01 月08 日	01 月09 日	01 月10 日	01 月11 日
5	香山								
6	佐藤		861000	210000		472500			
7	山崎	546000		693000		630000	630000		
8	村野	1522500	724500		756000				
9	太田							94500	42000
10	田中								
11	総計	2068500	1585500	903000	756000	1102500	724500	42000	
12									



列が月単位にまとまり、見やすくなる。

1					
2					
3	合計 / 金額	列ラベル			
4	行ラベル	1 月	2 月	3 月	総計
5	香山	6594000	5953500	7675500	20223000
6	佐藤	2488500	3507000	4021500	10017000
7	山崎	3171000	3727500	2184000	9082500
8	村野	4420500	1963500	1596000	7980000
9	太田	3927000	840000	4315500	9082500
10	田中	6058500	1023750	3108000	10190250
11	総計	26659500	17015250	22900500	66575250
12					

日ごとでは細かすぎるので、月単位にグループ化する。
→どこか日付のセルを選択し、「グループの選択」。



単位を選択。
ここでは「月」に。

【編集例②】行ラベルを重ねて、「誰が、何を売ったか」が分かるようにする

ピボットテーブルのフィールド

レポートに追加するフィールドを選択してください

☒ 商品名

☐ 日付

☐ 金額

☐ 期間

その他のグループ...

次のボックスにフィールドをドラッグしてください

▼ フィルター

日付

▼ 行ラベル

担当者

商品名

合計 / 金額

☐ レイアウトの変更を保留する

更新



ピボットテーブルの行ラベルにも
「商品名」が追加される。
追加された項目ごとに「値」も自動集計される。

→「誰が」「何を」売ったかが分かりやすくなる。

合計 / 金額	列ラベル	1月	2月	3月	総計
行ラベル					
香山		6594000	5953500	7675500	20223000
カクテル6種		472500	1134000	693000	2299500
ビール詰合せ		2562000	1470000	1680000	5712000
ワインセット		367500		1312500	1680000
焼酎詰合せ		294000	798000	2310000	3402000
洋酒セット		1323000	504000		1827000
利き酒3種		1575000	2047500	1680000	5302500
佐藤		2488500	3507000	4021500	10017000
カクテル6種				1008000	1008000
ビール詰合せ		210000	672000	672000	1554000
ワインセット			1312500		1312500
洋酒セット		1543500	472500	819000	2835000
利き酒3種		735000	1050000	1522500	3307500
山崎		3171000	3727500	2184000	9082500
カクテル6種		1323000	630000		1953000
ビール詰合せ		546000	672000		1218000
ワインセット			840000	1680000	2520000
焼酎詰合せ		672000	672000		1344000

⑤見栄えよく編集する（「ピボットテーブル ツール」の「デザイン」タブを使用）

ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 分析 **デザイン**

ピボットテーブル ツール

デザイン

☒ 行見出し ☐ 縞模様 (行)

☒ 列見出し ☐ 縞模様 (列)

ピボットテーブル スタイルのオプション

ピボットテーブル スタイル

合計 / 金額	列ラベル	1月	2月	3月	総計
行ラベル					
香山		6594000	5953500	7675500	20223000
カクテル6種		472500	1134000	693000	2299500
ビール詰合せ		2562000	1470000	1680000	5712000
ワインセット		367500		1312500	1680000
焼酎詰合せ		294000	798000	2310000	3402000
洋酒セット		1323000	504000		1827000
利き酒3種		1575000	2047500	1680000	5302500
佐藤		2488500	3507000	4021500	10017000
カクテル6種				1008000	1008000
ビール詰合せ		210000	672000	672000	1554000
ワインセット			1312500		1312500
洋酒セット		1543500	472500	819000	2835000



選択したデザインに合わせて変更される。
TPOやコーポレートカラーなどに
合わせて選ぶと良い。

使用データ「データベース」をもとに、下例のように、「何月に、どの商品を、誰が、いくつ売ったか」が判断できるピボットテーブルを作成して下さい。

2					
3	合計 / 数量	列ラベル			
4	行ラベル	1月	2月	3月	総計
5	カクテル6種	1090	560	840	2490
6	香山	150	360	220	730
7	佐藤			320	320
8	山崎	420	200		620
9	村野	330		300	630
10	田中	190			190
11	ビール詰合せ	1260	670	930	2860
12	香山	610	350	400	1360
13	佐藤	50	160	160	370
14	山崎	130	160		290
15	村野	180		30	210
16	太田			200	200
17	田中	290		140	430
18	ワインセット	910	640	1102	2652

フィルターを活用

「フィルター」に項目を追加することで、ピボットテーブルの情報を抽出することができます。

ピボットテーブルのフィールド

レポートに追加するフィールドを選択してください

☐ 表
☒ 行ラベル
☐ 列ラベル
☐ 値
☐ 計算
☐ フィルター

次のボックスでフィールドをドラッグしてください

フィルター: 担当者

行ラベル: 商品名

列ラベル: 月

値: 合計 / 数量

☐ レポートの更新を保留する

更新



A1・B1セルにフィルター項目が追加される。
情報を確認したい担当者を選ぶと、
ピボットテーブルの内容が担当者ごとに再集計される。

	A	B	C	D	E
1	担当者	(すべて)			
2					
3	合計 / 数量	列ラベル			
4	行ラベル	1月	2月	3月	総計
5	カクテル6種	1090	560	840	2490
6	ビール詰合せ	1260	670	930	2860
7	ワインセット	910	640	1102	2652
8	焼酎詰合せ	840	530	1000	2370
9	洋酒セット	1390	925	570	2885
10	利き酒3種	1000	750	870	2620
11	総計	6490	4075	5312	15877

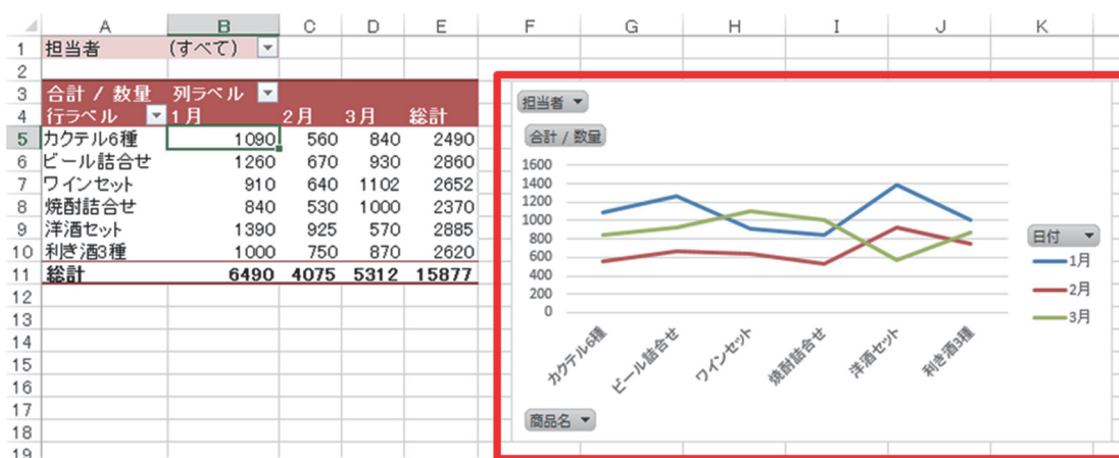
▶ ピボットグラフの作成

ピボットグラフは、以下の手順で作成します。

①ピボットテーブル内のセルを選択し、[ピボットグラフ] を選択



②使用したいグラフを選択する（下例ではフィルターも有効にしています）



③ [ピボットグラフツール] の [デザイン] タブを活用して見栄え良く編集する



元のテーブルに情報を追加しても、ピボット側では自動で再集計されません。テーブルに情報を追加したり削除したりした場合は、「更新」をしましょう。

テーブル側に情報を追加する。

104	101	04月01日	ビール詰め合わせ	4,200	80	336,000	太田
-----	-----	--------	----------	-------	----	---------	----



「4月」の列は増えない。



「4月」の列が追加される。

1	担当者	(すべて)				
2						
3	合計 / 数量	列ラベル				
4	行ラベル	1月	2月	3月	総計	
5	カクテル6種	1090	560	840	2490	
6	ビール詰合せ	1260	670	930	2860	
7	ワインセット	910	640	1102	2652	
8	焼酎詰合せ	840	530	1000	2370	
9	洋酒セット	1390	925	570	2885	
10	利き酒3種	1000	750	870	2620	
11	総計	6490	4075	5312	15877	

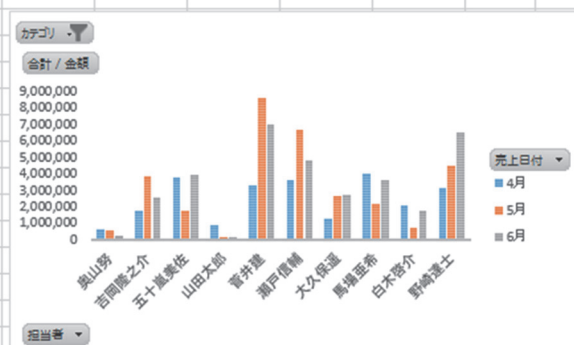
1	担当者	(すべて)				
2						
3	合計 / 数量	列ラベル				
4	行ラベル	1月	2月	3月	4月	総計
5	カクテル6種	1090	560	840		2490
6	ビール詰合せ	1260	670	930	80	2940
7	ワインセット	910	640	1102		2652
8	焼酎詰合せ	840	530	1000		2370
9	洋酒セット	1390	925	570		2885
10	利き酒3種	1000	750	870		2620
11	総計	6490	4075	5312	80	15957

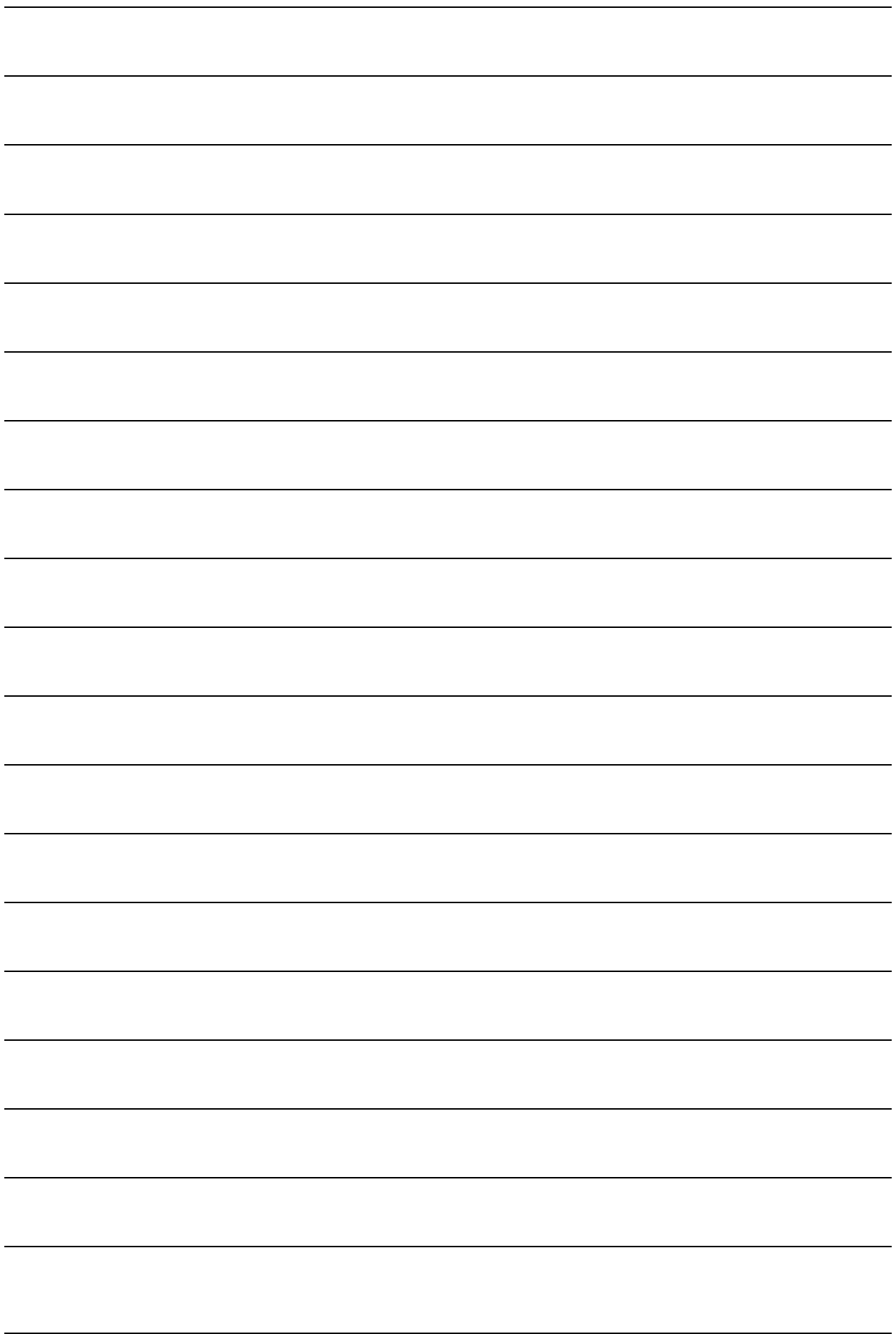


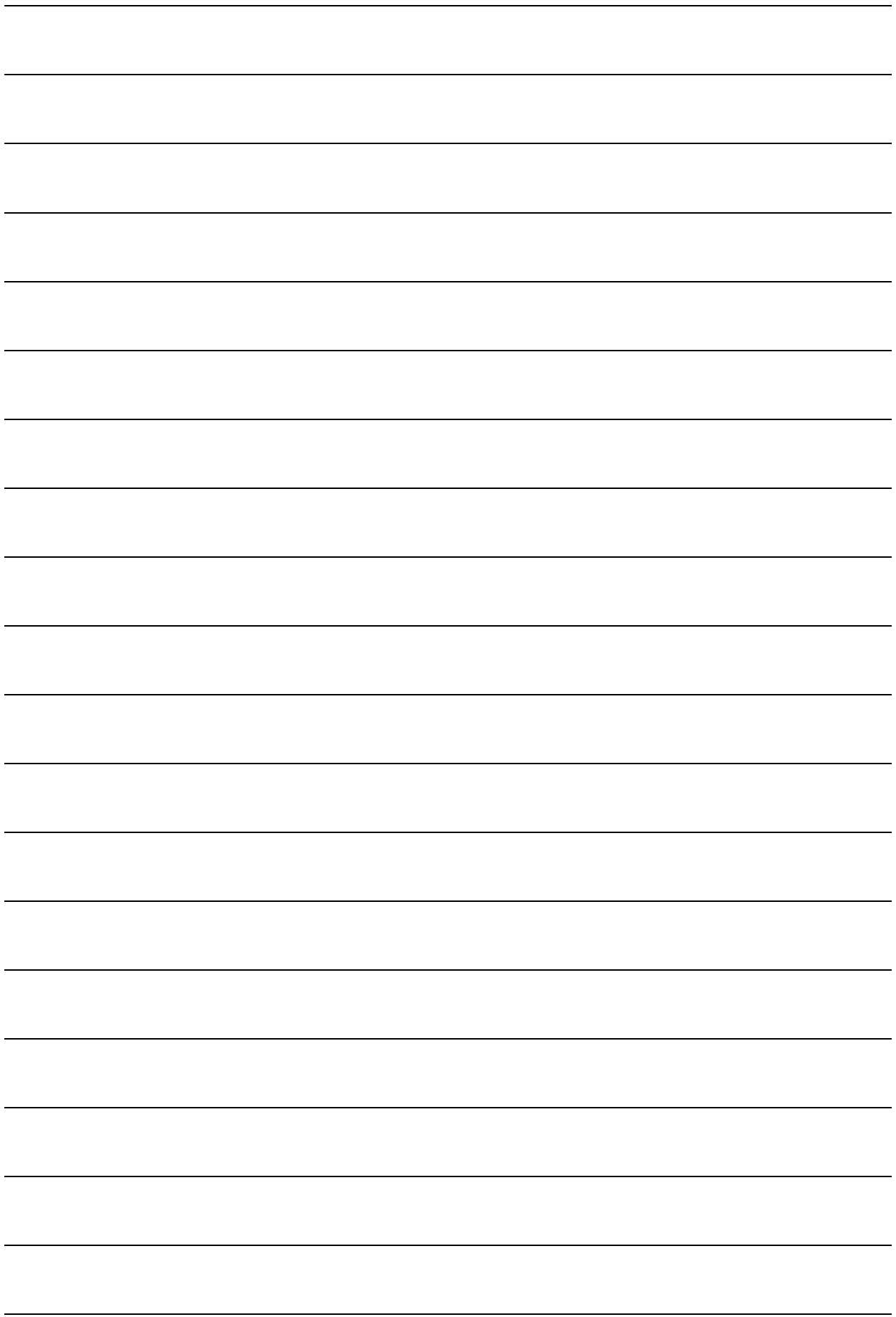
使用データ「2012 年度売上実績」をもとにして、あなたが「何かを判断するのに有効」と考える、見栄えの良いピボットテーブルとピボットグラフを作成してみましょう。

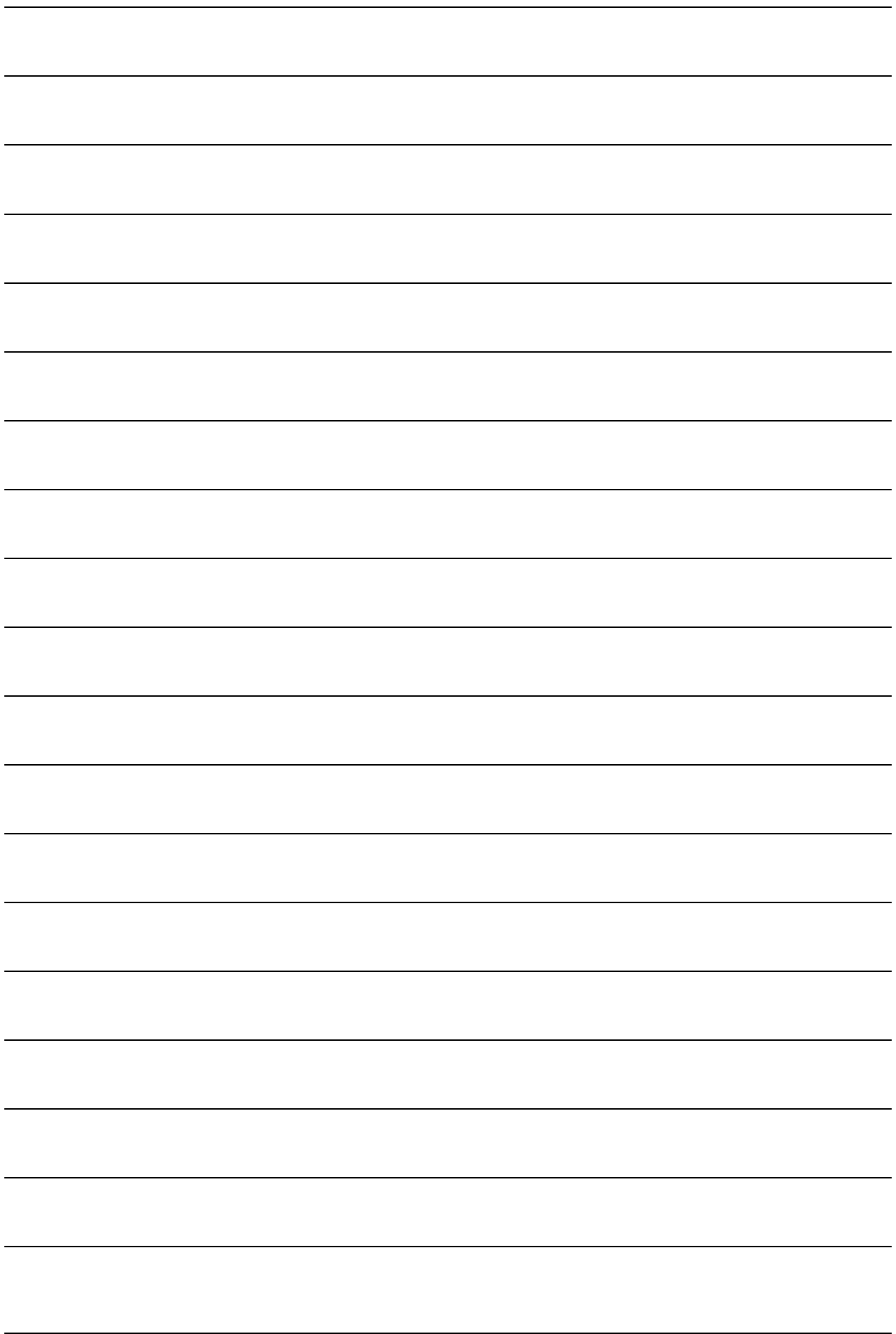
作成例：カテゴリごと、誰が、いつ、いくらかの売上かを判断する（誰が「エース」か、分かりますか？）

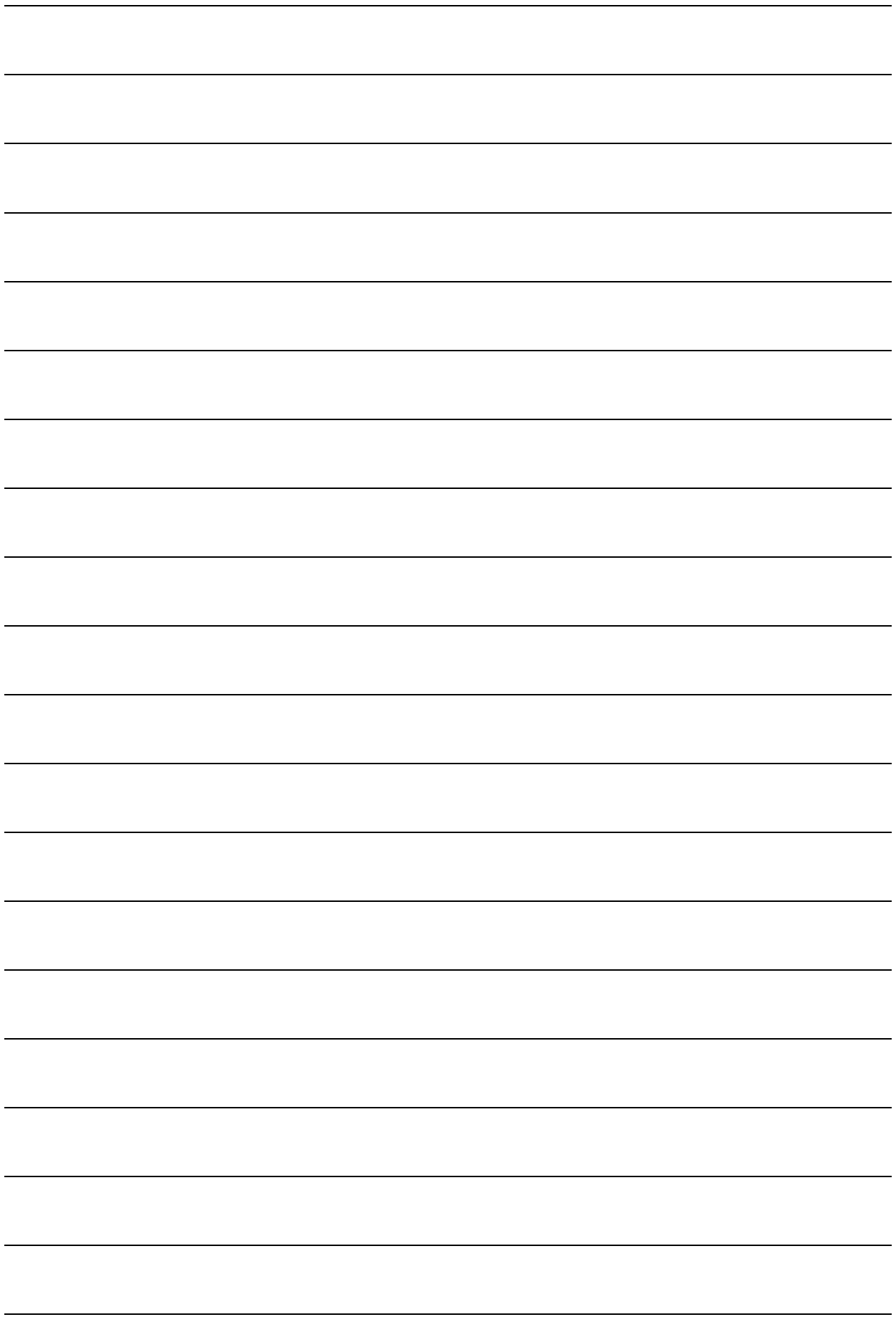
1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
2	カテゴリ	応接・受付											
3													
4	合計 / 金額	列ラベル											
5	行ラベル	4月	5月	6月	総計								
6	奥山努	651,000	576,400	215,600	1,443,000								
7	吉岡隆之介	1,795,400	3,883,700	2,574,600	8,253,700								
8	五十嵐美佐	3,800,300	1,751,200	3,969,100	9,520,600								
9	山田太郎	861,000	149,500	189,000	1,199,500								
10	菅井達	3,271,400	8,571,200	7,018,800	18,861,400								
11	瀬戸信輔	3,652,000	6,677,100	4,800,400	15,129,500								
12	大久保進	1,317,400	2,675,900	2,779,300	6,772,600								
13	馬場亜希	4,006,200	2,140,000	3,598,200	9,744,400								
14	白木啓介	2,057,500	715,400	1,811,400	4,584,300								
15	野崎達士	3,116,800	4,534,400	6,508,700	14,159,900								
16	総計	24,529,000	31,674,800	33,465,100	89,668,900								
17													











Excel 活用

制作・著作：日本マイクロソフト株式会社
無断使用・複製・転載を禁止します

